



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 カイゲン

コード番号 8000 URL <http://www.kaigen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩塚 英文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和田 直

TEL 06-6202-8972

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,314	△8.8	81	△36.2	113	△31.7	60	△20.4
23年3月期第1四半期	2,538	△3.7	128	△10.7	165	△6.9	75	△20.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.73	—
23年3月期第1四半期	8.45	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,908	8,287	69.6
23年3月期	11,973	8,264	69.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,287百万円 23年3月期 8,264百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△4.6	240	△22.4	270	△23.0	150	△16.9	16.77
通期	9,700	△1.2	300	△12.4	330	△16.3	170	△6.8	19.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」を御覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	9,099,303 株	23年3月期	9,099,303 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	155,333 株	23年3月期	155,333 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	8,943,970 株	23年3月期1Q	8,946,559 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表等	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策などを背景に、企業収益や設備投資の持ち直しの動きが見られたものの、依然として個人消費、所得、雇用状況は厳しく、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移しました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動の低下や消費の自粛等により経済活動の動きは弱まり、今後の深刻な影響が懸念されております。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品に対する医療費抑制政策が調剤市場を中心に進んでおり、依然として厳しい状況で推移しております。また一般用医薬品市場におきましても、価格競争に加え市場低迷により、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社はブランドの認知度向上と新商品開発に注力し、市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,314百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は81百万円（前年同四半期比36.2%減）、経常利益は113百万円（前年同四半期比31.7%減）、四半期純利益は60百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

事業別の業績は次の通りであります。

#### ①医療用医薬品事業

医療用医薬品は、消化器に作用する薬剤では主力の消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬「アルロイドG」は震災の影響を受け減少しましたが、後発品「ランソプラゾールOD錠」・「アムロジピン錠」においては新規開拓活動により伸長しました。

診断用薬のバリウムと発泡剤につきましては、内視鏡検査への移行による精密検査数や注腸検査数の減少に加え、震災の影響による検診数の減少により売上が低下しました。

医療機器は、昨秋より開始しております内視鏡洗浄消毒器「クリーントップWM-S II」の販売が軌道に乗り、さらに機器定期点検契約及び機器関連消耗品においても伸長しました。

この結果、売上高は1,872百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

#### ②ヘルスケア事業

一般用医薬品は、営業方針である重点量販企業との取り組み強化を図り、企業とのタイアップ企画を進めてきましたが、鼻炎関連薬（内服薬・点鼻薬・目薬等）の店頭在庫過多と、風邪薬の販売不振による店頭消化の低迷などが主たる原因となり、主力商品である「改源」をはじめ、風邪薬群全体に大きく影響しました。

健康食品は、震災の影響から健康食品関係の消費の冷え込みがあり、主力商品の特定保健用食品のコレカット類、ガニアシ原料などが減少しました。

また、通販向け商品及びOEM商品の販売低迷による在庫調整などもあり、売上は低迷しました。

この結果、売上高は441百万円（前年同四半期比19.4%減）となりました。

平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更しておりますが、今後の比較容易性を考え、当第1四半期累計期間に遡って適用し組替えをしております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は11,908百万円（前事業年度末11,973百万円）となり、前事業年度末に比べ64百万円の減少となりました。主な要因は、売上債権の減少によるものです。

また、負債は3,621百万円（前事業年度末3,708百万円）となり、前事業年度末に比べ87百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金、賞与引当金の増加及び退職一時金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行したことによる退職給付引当金の減少によるものであります。

純資産については、8,287百万円（前事業年度末8,264百万円）となり、前事業年度末に比べ22百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払いによる減少であります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表時（平成23年5月12日）に想定した予想に沿った業績で推移しておりますので、修正しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,168,022	4,163,670
受取手形及び売掛金	4,057,656	3,998,078
商品及び製品	592,754	601,027
原材料及び貯蔵品	73,147	72,685
その他	116,731	131,063
貸倒引当金	△9,000	△8,000
流動資産合計	8,999,312	8,958,525
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,785,941	1,785,941
その他(純額)	603,290	584,091
有形固定資産合計	2,389,231	2,370,033
無形固定資産		
投資その他の資産	59,662	56,159
その他	533,208	530,589
貸倒引当金	△8,214	△6,718
投資その他の資産合計	524,993	523,870
固定資産合計	2,973,887	2,950,063
資産合計	11,973,200	11,908,589
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,128,136	2,191,935
未払法人税等	102,140	51,310
賞与引当金	165,000	255,612
その他の引当金	41,712	31,264
その他	588,620	548,090
流動負債合計	3,025,610	3,078,213
固定負債		
退職給付引当金	611,512	472,796
その他の引当金	25,905	24,622
その他	45,852	45,852
固定負債合計	683,269	543,271
負債合計	3,708,880	3,621,485

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,364,609	2,364,609
資本剰余金	2,113,414	2,113,414
利益剰余金	3,833,292	3,857,710
自己株式	△64,447	△64,447
株主資本合計	8,246,869	8,271,287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,450	15,817
評価・換算差額等合計	17,450	15,817
純資産合計	8,264,320	8,287,104
負債純資産合計	11,973,200	11,908,589

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,538,433	2,314,060
売上原価	1,533,448	1,387,346
売上総利益	1,004,984	926,713
返品調整引当金繰入額	1,000	1,000
差引売上総利益	1,003,984	925,713
販売費及び一般管理費	875,965	843,985
営業利益	128,019	81,728
営業外収益		
受取利息	2,199	532
受取配当金	29,888	30,068
その他	7,232	7,608
営業外収益合計	39,320	38,210
営業外費用		
支払利息	35	31
寄付金	940	6,200
その他	733	513
営業外費用合計	1,708	6,744
経常利益	165,631	113,193
税引前四半期純利益	165,631	113,193
法人税等	90,000	53,000
四半期純利益	75,631	60,193



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

(単位：千円)

事業部門	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医療機器	257,212	31,872	△225,340	△87.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 商品仕入実績

(単位：千円)

事業部門	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	324,776	320,950	△3,825	△1.2
診断用薬	620,188	588,285	△31,903	△5.1
計	944,964	909,235	△35,729	△3.8
医療機器	67,135	186,859	119,724	178.3
その他	52,231	43,415	△8,816	△16.9
合計	1,064,331	1,139,510	75,178	7.1
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	163,863	118,669	△45,193	△27.6
消化器に作用する薬剤	22,361	28,090	5,729	25.6
保健栄養強壮剤	6,338	11,551	5,213	82.3
その他	5,722	8,741	3,019	52.8
小計	198,285	167,053	△31,232	△15.8
医薬部外品	280	—	△280	△100.0
その他	12,836	13,574	737	5.7
計	211,403	180,627	△30,775	△14.6
健康食品	95,632	80,143	△15,489	△16.2
合計	307,035	260,771	△46,264	△15.1
総合計	1,371,367	1,400,281	28,914	2.1

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 商品仕入総合計額のうち、堺化学工業(株)より次の通り仕入れております。

前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間
1,013,061千円	942,913千円

- 4 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしておりますが、今後の比較容易性を考え、当第1四半期累計期間に遡って適用し組替えをしております。

## ③ 販売実績

(単位：千円)

事業部門	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	増減率 %
医療用医薬品事業				
医薬品				
消化器に作用する薬剤	637,048	538,532	△98,515	△15.5
診断用薬	956,658	885,595	△71,062	△7.4
計	1,593,706	1,424,127	△169,578	△10.6
医療機器	336,899	390,584	53,684	15.9
その他	60,542	58,170	△2,371	△3.9
合計	1,991,148	1,872,882	△118,265	△5.9
ヘルスケア事業				
一般用医薬品				
医薬品				
神経系、呼吸器系及び循環器系に作用する薬剤	318,845	262,052	△56,792	△17.8
消化器に作用する薬剤	29,425	29,619	194	0.7
保健栄養強壮剤	8,659	9,202	542	6.3
その他	24,333	9,392	△14,940	△61.4
小計	381,263	310,266	△70,996	△18.6
医薬部外品	327	271	△56	△17.3
その他	29,803	25,588	△4,214	△14.1
計	411,394	336,126	△75,267	△18.3
健康食品	135,890	105,050	△30,840	△22.7
合計	547,284	441,177	△106,107	△19.4
総合計	2,538,433	2,314,060	△224,372	△8.8

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

- 2 平成23年7月1日より指揮系統を統一することで商品及び人材の共有化、ブランド力の再構築を図るために、従来の「一般用医薬品部門」と「健康食品部門」を統合し「ヘルスケア事業」に組織変更をしておりますが、今後の比較容易性を考え、当第1四半期累計期間に遡って適用し組替えをしております。